

わたしたちの声を聞いてください!

## 「『おもてなしの国』ガーナ」

エドワード ヤオ オセイ

私は西アフリカのガーナ出身です。ガーナはよく「おもてなしの国」と言われますが、その理由を紹介します。ガーナ人は常に相手を思いやる優しい人々です。助け合うことは当たり前で、雨の時は誰でも雨宿りができるように玄関のドアを開けておきます。また、大勢でサッカーのテレビ観戦をするのが好きなので、大切な試合の日も玄関を開けておきます。そしてお年寄りを心から敬います。日本に住んで約10年になりますが、ある日スーパーでお年寄りが色んな人に公衆電話の場所を聞いていたのに、みんなが無視しているのを目にし、泣きそうになったことがあります。優しい日本人もたくさんいますが、その出来事は未だに忘れられません。ガーナではお年寄りのそばにいつも誰かがいます。一人で暮らしたり外出したりしません。事実、私たちは彼らのことを「Nana (ナナ)」という身分の高い人に用いる呼称で呼びます。お年寄りだけでなく子どもも大切に育てるガーナでは、子どもが大人の男性に対して「Dada (=おとうさん)」、大人の女性に対して「Mama (=おかあさん)」と呼んだりします。大切にするというのは甘やかすのではなく、自分の子どものように叱ったり、励ましたりするのです。そして、食事の時間も大切にします。ガーナでは、小皿によそわず大皿に盛られた料理をみんなでつつきあい、絆を深めます。楽しい時間を共有することが大好きなガーナ人は、常に「おもてなし精神」を忘れません。そんな「おもてなしの国」ガーナにぜひ来てほしいね★



ガーナの国旗



ガーナの食事風景



ガーナの地図

## INFORMATION

### 外国人住民に係る住民基本台帳制度について

7月9日から新しい「在留管理制度」がスタートしました。それと同時に、市町村で行われている「外国人登録制度」は廃止されました。この制度の対象者には「**在留カード**」が交付され、外国人でも日本人と同様に「住民基本台帳」が作成されます。住所変更の届出の手続きも簡単になり、在留資格・期間の変更は、地方入国管理局への届出のみでよくなります。

#### ●在留カード交付場所●

【新規入国者】→出入国港で交付(制度導入当初は成田空港、羽田空港、中部空港及び関西空港のみ)

【上記以外の空港からの新規入国者】→市町村に住所登録後、簡易書留で住居地に郵送される。

【永住者】→入国管理局で外国人登録証明書から在留カードへの切り替え申請(原則即日発行)

【既に日本に滞在している中長期在留者】→在留申請(更新・変更等)を行い、結果受領時に交付。在留期限到来前でも希望すれば在留カードの交付申請可。

詳しくは→ [http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact\\_1/index.html](http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/index.html)



### イベントの報告 国際理解講座『ママの国ってどんなトコ?~フィリピン編~』

6月24日(日)にiichiko総合文化センターB1F【映像小ホール】で、国際理解講座『ママの国ってどんなトコ?~フィリピン編~』を開催しました。これは、近年学校などで差別や偏見を受け、自分や親が外国人だということを隠したいと願う子供たちが多いという問題を受け、それぞれのアイデンティティの確立を願い開催されたイベントです。当日は、フィリピン人ママたちが日本語・英語・タガログ語を交えながら、フィリピンの歴史や文化、そして伝統舞踊や歌を紹介しました。

おおいた国際交流プラザでは、今後もこの様な『在住外国人に

よる在住外国人のためのイベント』を開催していきます。ぜひご参加ください!



講師:中村マリコさん



フィリピン伝統舞踏

おおいた国際交流プラザ

## La Estación 2012 Vol. 38

発行日 平成24年7月27日(奇数月末発行予定)  
編集・発行 (財)大分県文化スポーツ振興財団 国際交流課  
〒870-0029 大分市高砂町2番33号 スペース ビー  
iichiko総合文化センター地下1階 iichiko Space Be内  
開館時間: 9:30~19:00  
閉館日: 日曜日・祝日及び第2・4月曜日とその週の土曜日※ただし閉館日が祝祭日の場合はその翌日  
TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052  
E-mail: in@emo.or.jp Twitter: @oitaplaza  
URL: <http://www.oitaplaza.jp/>



## おおいた国際交流プラザ OITA INTERNATIONAL PLAZA

# La Estación

vol. **38**  
2012

ラ・エスタシオン

スペイン語で、局や駅の意。当誌が県内の国際交流・協力情報の発信地として、広く親しんでいただけるようお願いを込めてつけました。

寄稿 国際交流協会の役割

第2回「教育活動を通して、地域の課題解決に取り組む ~滋賀県国際協会の試みより~」.....1-2

団体の紹介 ●大分県フィリピン友好協会.....3

国際的に活躍している人々の紹介.....3  
マチュー・ガリオン氏

みんなちごうちおもしろい~♪.....4

JICAデスク大分からこんにちは「隊員体験記」.....4

Event Calendar.....5-6

私たちの声を聞いてください!.....7  
エドワード ヤオ オセイ氏

Information.....7

イベントの報告.....7

## 第2回

# 「教育活動を通して、地域の課題解決に取り組む ～滋賀県国際協会の試みより～」

今年度は「国際交流協会の役割」と題して、先進的な取り組みを行っている国際交流協会等に、国際交流団体や在住外国人に対する支援策等について解説していただきます。第2回目は、滋賀県国際協会の大森容子さんの寄稿です。

### ▶ 国際教育研究会 Glocal net Shigaの設立

2002年度から「総合的な学習の時間」が導入されることを契機に、滋賀県国際協会では国際教育協働推進事業に取り組むことになりました。当時、総合学習のテーマの一つとして「国際理解」が挙げられたことから、教育現場から当協会へ何らかの支援や依頼が増えるのではと考えたためです。

そこで、まず「国際教育研究会 Glocal net Shiga<sup>\*1</sup>」（事務局：滋賀県国際協会）の設立に取り組みました（2003年4月設立）。県内の専門的な見識を持つ教員、NGO関係者、元青年海外協力隊員といった様々な立場の人々をつなぎ合わせ、来年で活動も10年目となります。

### ▶ 地域課題の解決に向けたオリジナル教材の開発

その頃滋賀県では、外国人住民、とりわけ南米出身者の流入が著しく、その子どもたちの多くが地域の学校で学ぶ中、異なる背景を持つ子どもたちを異質なものと見なして、仲間として受け入れられないといった様々な課題が見えてきていました。世界と自分たちとのつながりを理解することはもちろん大切ですが、それと同時に、地域に暮らす外国人の方たちとの共生に向けたコミュニケーション能力や姿勢などを育てていく必要性をひしひしと感じていました。

「Glocal net Shiga」では設立以来、毎月例会を開催し、国際教育について研究を続けています。特に、地域の特色を生かして、小学生からを対象として活用できる参加型学習教材の開発に取り組んできました。

はじめに手掛けたのは、「ものランゲージ ブラジルボックス<sup>\*2</sup>」の作製です。2004年の開発当時、県の外国人登録者の47%がブラジル籍という現状を踏まえて、ブラジルの生活文化や習慣への理解を深め、多文化共生の意識を育むための一助となるようにとの思いがありました。開発から数年経った現在でも、学校や地域の人権講座などで年間30件ほどの利用があります。実際に、ブラジル人児童が在籍する学級の授業参観で、この教材を使った授業を行った翌日、それまで日本名で通学していた日系ブラジル人児童が、ブラジル名（本名）で通学するようになったと担任の先生から報告を受けたことがあります。授業を機に、クラスメイトやその保護者のブラジルに対するイメージが向上したことや、自らのルーツに誇りを持つことにつながったという事例です。また、外国にルーツを持つクラスメイトに対して共感できる日本の子どもたちの姿も見られるようになってきたとの報告も寄せられています。

次に開発した「カルタ わたしん家の食事から<sup>\*3</sup>」は、外国人相談窓口から寄せられた要望に応えたものです。外国人児童生徒の抱える課題として、言葉の問題の次にあげられるのが「給食」でした。学校で皆が一斉に同じものを食べるという給食制度や、日本風の味付け、見たこともない食材など、異なる食文化に適応できない状況を周囲の大人や子どもたちに正しく理解してもらえないという声が挙がっていたためです。そこで、「食」という身近なテーマを切り口に、カルタ形式で多様な食文化の紹介や異文化に遭遇した時の気持ちを理解するための教材として作り上げ、今では全国の教育関係者に活用いただいています。

<sup>\*1</sup> 国際教育研究会 Glocal net Shiga <http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/glocal/index.htm>

<sup>\*2</sup> 「ものランゲージ ブラジルボックス」 <http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/brazil/index.htm>

<sup>\*3</sup> 「カルタ わたしん家の食事から」 <http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/watashi/index.htm>

<sup>\*4</sup> 「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起った? (震災編) <http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/nanigaokotta/index.htm>

### ▶ 共通の目的に向かって、様々なアプローチを試みる

地域での国際理解や多文化共生に向けた動きが活発になることを目指していくなかで、日頃、外国の方たちが置かれている状況に共感が得られるような体験型学習教材の開発が有効なのではないかと考えました。そこで、日本語から情報を入手しづらい外国人の気持ちを理解するための疑似体験教材の開発に取り組みました。言葉や文化の壁といった日常生活での課題が増幅する災害時には、より厳しい立場や状況に置かれることになると感じ取ってもらおうと、2011年1月末に「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起った? (震災編)<sup>\*4</sup>を開発しました。

普段、「外国人との共生」といったことにあまり馴染みのない地域の自治会役員の方たちの前で、この教材を実践する機会を得たことがありました。「災害が起こってパニックになっている上に、分からない言葉が飛び交ったり、アナウンスされると、『不安』という言葉だけでは表せないような状況になると思う。どちらからでもいいから、まずアクションを起こして共生のスタートラインに立つことが大切だ



滋賀県消防学校 初級幹部職員研修の様子

と感じた」「他府県から引越してこられた日本の方と同じく、外国の方にも近所の者が声掛けをしていくとよいと思う」といった感想が寄せられ、身近な問題として捉えてもらうことができたのではと実感しました。

また昨年度から、当協会の災害時外国人支援担当者が県消防学校に働きかけ、消防職員を対象にこの教材を使った研修を実践することができました。「これまで被災した外国人の立場を考えたことがなかった。こちらが平易と思っている、相手には理解できない言葉が多々あることが学べた」「緊急災害時だけでなく日頃の救急通報においても

同様、今後の業務に生かしたい」といった感想も聞かれました。この研修を通じて、緊急・災害時に現場で直接対応する立場にある消防職員の方々に、被災した外国人の気持ちや防災についての意識・知識の違いなどを理解しておくことの必要性を伝えることができ、今後様々な備えをしていただけることにつながると期待しています。

さらに、当協会の外国人支援担当者が、外国人と日本人親子を対象とした防災ワークショップを企画し、楽しいゲームなどを取り入れた交流会を実施しました。各個人レベルでの防災意識の向上とともに、いざというときに助け合えるよう地域での顔の見える関係づくりをねらいとしたものです。こうした取り組みが各市町や自治会などへ広がっていくことを目指し、引き続きサポートしていきたいと考えています。



2012多文化親子交流会  
「防災ワークショップを体験しよう!」

### ▶ 今の時代に求められる国際協会の役割とは

グローバル化しつづける今の時代に求められる国際協会の役割とは、国際交流で築いてきた経験をもとに、途上国の人々や地域の外国人といったマイノリティの方たちの“声なき声”に真摯に耳を傾け、すべての人々が安心して暮らせる社会づくりを目指して活動していくことだと信じています。立場や置かれている状況の異なる人々との間に立ち、バランスを保ちながら、今後も地道な活動を積み重ね、決して一過性のものとしてせず、常にこうした課題と向き合いながら目指すべき社会の姿に近づいていきたいと考えています。



#### Profile

#### 大森 容子 (おおもり ようこ)

公益財団法人滋賀県国際協会 主査。1997年9月より、同協会に勤務。2002年1月より、国際教育協働推進事業を担当。「国際教育研究会 Glocal net Shiga」の立ち上げに携わり、2005年4月の設立以来、事務局を務める。これまで研究会のメンバーとともにオリジナル教材の開発や、セミナーの企画・開催、滋賀県総合教育センターでの初任者研修、10年経験者研修をはじめ県内外の開発教育、国際理解教育、人権教育、多文化共生教育の研修会、大学での講義などで講師を務める。多文化共生マネージャー（2008年6月 財団法人自治体国際化協会認定）。

## 大分の国際交流団体の紹介

### 大分県フィリピン友好協会

Oita Philippines Friendship Association



大分県フィリピン友好協会  
 ■代表 吉武ロドラ  
 ■〒870-0165  
 大分市明野北5-10 チュリス明野A-406  
 ■TEL 097-567-1734  
 ■FAX 097-567-2829

#### 【設立】平成7年

【設立者】吉武 ロドラ

【設立の背景】阪神・淡路大震災がこの年にあり、多くの外国人が犠牲になったにもかかわらず何も出来なかったことから、この会が設立されました。

#### 【活動目的】

1. 相互扶助 —助け合いながら外国に暮らすことの大切さ—
2. 祖国への慈善活動—フィリピンの恵まれていない方々を助けること—
3. 在日フィリピン人の地域交流 —地域に溶け込めるよう、様々なふれあいの場を設ける—
4. フィリピン観光のサポート

#### 【活動内容】

- |   |       |  |
|---|-------|--|
| 平成20年   | 7月    | 大分高専「足踏みシンボランティア部」によるミシン寄贈(40台)<br>※高専生による現地技術指導と交流会                                 |
| 11月 第1回パスポート出張申請<br>※フィリピン人のパスポート更新申請は、大阪総領事館へ行かなければ申請できませんが、当協会より領事長にお願いして大分でも出来るようになりました。 | 9月    | チャリティーイベント[別府B-CON PLAZA] アキノ大統領との交流会[東京] フィリピン大使館を通じて東日本大震災の被災支援(義損金40万円)           |
| 12月 フィリピン台風被害援助(赤十字・孤児院・教会等に寄付)   | 平成24年 |  |
| 平成21年   | 1月    | フィリピン台風被害援助(100世帯に義損金20万円)   |
| 9月 第2回パスポート出張申請   | 4月    | 第3回パスポート出張申請   |
| 11月 フィリピン台風被害者のためのチャリティーイベント  | 5月    | 大分高専から寄贈されたミシンで制作したスクールバッグと文房具を、現地の貧しい子供たちに配布(100人分)                                 |
| 12月 フィリピン台風被害援助(約1500世帯に食糧支援)   |       |  |
| 平成22年   |       |  |
| 5月 設立15周年イベント[jichiko音の泉ホール]  |       |  |
| 10月 チャリティーイベント[大分市西部公民館]  |       |  |
| 12月 フィリピンの栄養失調の子どもたちへの食事提供(450人分)   |       |  |
| 平成23年   |       |  |
| 4月 東日本大震災被災者への食糧支援(米1トン)  |       |  |

これからも頑張りますのでよろしくお願いします!!

## 人物の紹介

~国際的に活躍している人々の紹介~

CRÊPERIE 「Bon' app !!」 フレンチカフェ /ガレット&クレープ  
 大分市大道町2-5-17 (大分駅新上野の森口徒歩5分)  
 ☎097-560-4428  
 OPEN/11:30-14:30 (L.O/14:00)  
 17:30-22:00 (L.O/21:00)  
 CLOSE/木曜日・第3水曜日 (祝日の場合は前日)  
 http://cafebonapp.com



みなさん、ガレットという食べ物をご存知ですか?ガレットとは、フランスブルターニュ地方に伝わる郷土料理、そば粉のクレープです。今回は、そのガレットを手軽に味わうことのできるフレンチカフェ「Bon' app !! (ボナッパ)」を大分市大道で営むMATHIEU GARILLON (マチュー・ガリヨン) さんを紹介します。

#### —こんにちは!まず始めに、マチューさんのルーツを教えてください!

私は、フランス領であるアフリカのジブチで生まれました。18歳までチャド、コートジボワール、ニューカレドニア、カメルーンなどで過ごし、19歳で家族とともにフランスに戻りました。

#### —日本に来たきっかけは何?

今の奥さんと国際結婚をしたからです。東京-フランスの超遠距離恋愛を4年続けた後、パリで2年間一緒に暮らし、奥さんの出身地である大分に来ました!



た動物に出会えてとてもおもしろいです。そして何より、大分の人には親切ですね!ここでお店を作っている時から、「何屋さんになるの?」「暑いのに頑張るねー。」などと声を掛けてくれました。今でもご近所の方が野菜のおすそ分けをくれたりして、いつも気にかけてくれます。

#### —最近何か困ったことはありましたか?

私はまだ日本語を勉強中なので、やはりお客さんの日本語でのコミュニケーションが難しいですね。奥さんがお店に出られる時はいいのですが、最近では子どもの世話が忙しくてなかなか出られなくて。アルバイトさんを探すのにも一苦労でした。もって日本語が話せるようになりたいのですが、今は仕事が忙しくて教室に通う時間がないのが悩みです。

#### —最後に、マチューさんの人生のモットーは?

「Try to enjoy everyday!!」  
 とにかく、毎日を楽しむことが大切です!

マチューさん、これからも地域の方々と助け合いながら、フランスの美味しい料理と文化を広めていってくださいね!

## NEW! みんなちごうちおもしろい~♪

大分弁：みんなちがっておもしろい♪の意

普段は当たり前のようにやっているけど…これって日本だけの習慣?? 海外旅行に行くと現地の人の様子を見てビックリ!なんて経験がアナタにもあるはず! 今回新設されたこのコーナーは、世界各国の文化や習慣の違いを楽しく共有するコーナーです! 夏風邪が気になるこの季節、記念すべき第1回目のお題は…

### 『風邪ひいた時、どげえしょん?』



オーストラリア



ガーナ



モンゴル

ハニーレモンティーを飲みます♪【N.F】

マスタードの湿布を胸の上に置くと気管支炎に効くよ♪(作り方:マスタードの種を粉状に挽き、ぬるま湯を加えて混ぜた生地をタオルで包んで胸の上に約15分置く。)【A.T】



フランス

年中暑いガーナなのに、厚着をする!【E.O】  
 病院に行くとき「マラリア」と診断されます…【S.E】



フィリピン

ゴーヤの葉っぱをすりつぶした汁を飲んで、しょうがを舂める!【R.Y】

病院に行くと、風邪に効く体操や頭のマッサージなどの民間療法を教えてください。なんと、祈禱師も病院に常駐しています!【R.W】

## JICA デスク大分

ジャイカ からこんにちは

大分県から派遣されている青年海外協力隊(20歳から39歳まで)は20名、シニア海外ボランティア(40歳から69歳まで)は6名、合計26名の方が活動しています。それぞれアジア、アフリカ、南米、大洋州、中東の23か国で活躍中!(2012年6月18日現在)

シニア海外ボランティアで2010年9月から、大洋州のパプアニューギニアに派遣されている大塚祐司(おおつかゆうじ)さん。ディバインワード大学教育学部で、理数科教育に携わっていらっしゃる様子を紹介します。

パプアニューギニアでの教育支援もあつたかとなりました。苦難の多かった生活や活動がすべて美しい思い出となりつつあることに感謝している今日この頃です。「プラクティカルサイエンス」と称してパプアの大学生達に紹介した講義内容や手作り教材を学生たちが自分たちなりに改良し、活用しようとしている姿に「来て良かった」と実感しています。また、小学校では、将来教職を志す若い青年海外協力隊とコラボして「サイエンスワークショップ」など実施しました。子どもたちの輝いた目に私の方が吸い込まれそうでした。わずか36年前に独立した若い国パプアニューギニアではありますが、若い世代がゆっくりではありますが着実に前進している手ごたえを感じることができました。国鳥のバード・オブ・パラダイス(極楽鳥)はとても美

しい鳥です。パプアニューギニアを代表するセビック川流域の自然もパラダイスと言えるほど美しいものでした。この美しい国において、多少年齢を重ねたシニア海外ボランティアではありますが、若い青年海外協力隊に負けないくらいエネルギーを出し切った爽快感を今感じています。



「学生の手作り実験」(レモン電池や炭電池の手作り実験の風景です)



「サイエンスワークショップ」(近隣の小学校にて、青年海外協力隊員と共にワークショップを実施したときの生徒たちとのスナップです)



国際協力推進員の渡辺(わたなべ)までいつでもどうぞ

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko 総合文化センター地下1階 国際交流プラザ内  
 TEL : 097-533-4021 FAX : 097-533-4052 E-mail : jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp



AUG 8 ▶▶▶ SEP 9

## プラザのカウンセリング・各相談室のご案内

### 中国語無料相談

毎月第2・第4火曜日と木曜日  
 時間：火曜日：13：00～16：00  
 木曜日：10：00～13：00  
 会場：国際交流プラザ  
 予約：不要 相談料：無料  
 相談員：児玉 文玉（こだま うえんゆう）  
 ※県内在住中国語圏の方のための相談室です。

### タガログ語無料相談

毎月第1土曜日と第3火曜日  
 時間：13：00～16：00  
 会場：国際交流プラザ  
 予約：不要 相談料：無料  
 相談員：吉武ロドラ（大分県フィリピン友好協会 会長）  
 ※県内在住フィリピン人の方のための相談室です。

### 在住外国人のための無料相談

毎月第3水曜日  
 時間：13：00～16：00  
 会場：国際交流プラザ  
 予約：不要 相談料：無料  
 ※ただし、日本語、英語以外による相談は、通訳手配のため、2日前までに要予約。  
 相談員：伊藤精（行政書士）  
 ※県内在住外国人のための相談室です。

### 入国・在留国籍手続無料相談

毎月第1日曜日  
 主催：ライフサポート大分  
 時間：13：00～16：00  
 会場：国際交流プラザ  
 予約：必要 相談料：無料  
 対応言語：日本語・英語  
 ※主として法律相談ですが、それ以外の内容でもお困りの場合はご来館ください。また、相談内容が外にもれることはありません。お知り合いの外国籍の方がトラブルや悩みを抱えている場合には、その方にぜひお伝えください。

### 在住外国人のための無料健康相談

毎月第3水曜日  
 主催：大分県済生会日田病院  
 時間：14：30～15：30  
 会場：国際交流プラザ  
 予約：不要 相談料：無料  
 ○健康が不安、どこに相談すればいいの？  
 ○体調が悪いけど、医療費の支払いが心配。  
 県内在住外国人で、低所得（住民税非課税世帯等）の方、失業等による急な所得低下の方、DV被害の方、医療費にお困りで病院を受診できない方、医療や福祉に関する相談など、ぜひご利用ください。  
 ※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。

## AUG

### 4日（土）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

### 5日（日）入国・在留国籍手続無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ  
 主催：ライフサポート大分

### 11日（土）日本語deトーク

国際交流プラザでは日本人と外国人の相互理解を目的に、毎月土曜日に日本語deトークを開催します。この日本語deトークでは、日本人と外国人が各国の文化の違いなど、毎回異なるテーマに沿って日本語で話し合いをし、気軽に交流をします。日本人、外国人のことを知ってもらいたい方、理解したいという方、もちろん、「何だかおもしろそう!」という好奇心旺盛な方も大歓迎です。興味があるテーマに気軽に参加してみませんか？  
 テーマ：「祭」  
 時間：13：00～14：30  
 会場：国際交流プラザ  
 定員：各5名（先着順）※要申し込み 参加費：無料  
 TEL：097-533-4021 E-mail：hiramoto@emo.or.jp

### 15日（水）在住外国人のための無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

### 21日（火）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

### 22日（水）在住外国人のための無料健康相談

時間：14：30～15：30 会場：国際交流プラザ  
 ※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。  
 お問合せ：大分県済生会日田病院 TEL：0973-24-1100

## SEP

### 1日（土）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

### 2日（日）入国・在留国籍手続無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ  
 主催：ライフサポート大分

### 16日（日）HEAL THE WORLD

毎年行われている、大分県フィリピン友好協会主催の恵まれない子供たちのためのチャリティショーです。フィリピンの歌と踊りのほか、ミスコン・リトルミスコンなど楽しい企画満載!!ぜひお越しください  
 時間：13：00～16：00 会場：iichikoグランシアタ  
 入場料：500円  
 お問合せ：大分県フィリピン友好協会  
 TEL：090-9797-6217

### 18日（火）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

### 18日（火）国際交流研修会

県内の自治体職員及び国際交流団体を対象に、多文化共生をテーマとした国際交流研修会を開催します。今年度は、多文化共生分野の第一人者である田村太郎氏を講師としてお迎えし、災害発生時の外国人への情報伝達支援についてお話を伺います。  
 時間：13：30～16：00  
 会場：iichiko総合文化センター B1F【映像小ホール】

### 19日（水）在住外国人のための無料相談

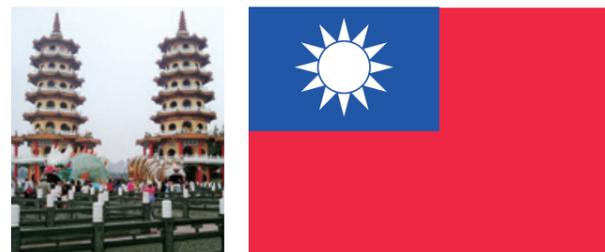
時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

### 19日（水）在住外国人のための無料健康相談

時間：14：30～15：30 会場：国際交流プラザ  
 ※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。  
 お問合せ：大分県済生会日田病院 TEL：0973-24-1100

### 28日（金）国際理解講座 ～台湾へタイムトリップ～

APU留学生による、母国台湾の文化や歴史の紹介講座を開催します。日本に近くて関わり深い台湾へ、1時間半のタイムトリップをしませんか？  
 時間：14：30～16：00  
 会場：iichiko総合文化センター B1F【映像小ホール】  
 予約：不要 受講料：無料



## Asian Week 2012 in コンパルホール

8月19日～25日、コンパルホールで「Asian Week 2012」を開催します。アジアの国々を身近に感じる一週間。違いを楽しめばもっと興味がわいてくる！目で、耳で、着て、食べて、しゃべって、考えて、体中で感じる参加型イベントです。第一弾は、今年国交正常化40周年を迎える国「中国」をテーマに開催します（第二弾は10月22日～28日開催予定）。期間中は中国墨絵画と篆刻作品の展示、メインイベントを25日に開催します。

### 8月25日 チャイニーズDAY in コンパルホール

場所：3F多目的ホール  
 時間：11：00～15：30（時間は催し物による）

【太極拳・少林寺カンフー&二胡コンサート】  
 時間：11：30～12：00/13：00～13：40  
 二胡奏者の趙萍（ちようへい）氏によるコンサート

【武漢料理屋台】  
 時間：11：00～15：30 料金：一皿200円～500円  
 大分市の友好都市武漢市の料理や点心が食べられる屋台。中国のコンサートを聞きながら本場の味を楽しもう！他にもドキュメンタリー映画上映、小物販売、花文字コーナー、衣装体験、留学生との交流ラウンジ、わくわくスタンブラリー、青年海外協力隊による「目からつららの中国体験☆マイナス30℃の世界」など多数のイベントあり！

各イベントの詳細は、  
[コンパルホールHP  
 http://www.compalhall.jp/](http://www.compalhall.jp/)  
 にアクセス！

お問合せ：コンパルホール ☎097-538-3700

## 登録して安心! OIPM ~国際交流プラザ無料携帯メール~ OIPM~Free E-mail Newsletter~

大分県内の生活情報やお得な情報、そしていざという時の災害情報などを携帯電話のE-mailにお届けします。言語は日本語・やさしい日本語・英語・中国語です。  
 登録方法はとても簡単。  
 携帯電話から空メールを送り、その後返信されるメールの内容にしたがって登録手続きをだけです。ご希望の言語を1つ選び、それぞれのアドレスに空メールを送ってください。登録は無料です。

Join the OIPM E-mail Newsletter and receive valuable information about life in Oita Prefecture by E-mail to your mobile phone. Along with regular E-mails there will also be up to date news for Natural Disasters. Joining is easy!  
 Choose a language, and send a blank E-mail to that address. Follow the directions in the reply that follows. The available languages are :

日本語 : [jpn@oipm.jp](mailto:jpn@oipm.jp)  
 やさしい日本語 : [ejp@oipm.jp](mailto:ejp@oipm.jp)  
 英語 : [eng@oipm.jp](mailto:eng@oipm.jp)  
 中国語 : [chn@oipm.jp](mailto:chn@oipm.jp)

Japanese : [jpn@oipm.jp](mailto:jpn@oipm.jp)  
 Easy Japanese : [ejp@oipm.jp](mailto:ejp@oipm.jp)  
 English : [eng@oipm.jp](mailto:eng@oipm.jp)  
 Chinese : [chn@oipm.jp](mailto:chn@oipm.jp)